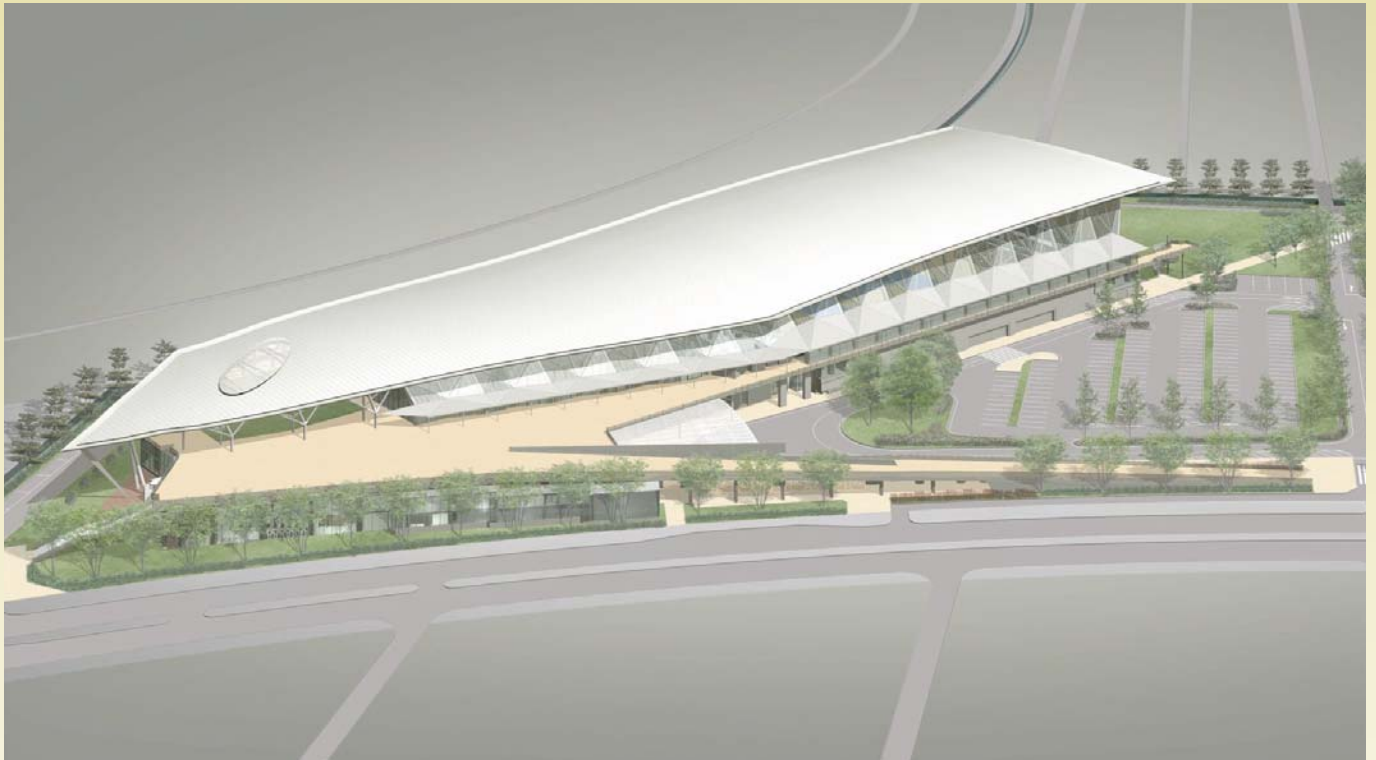
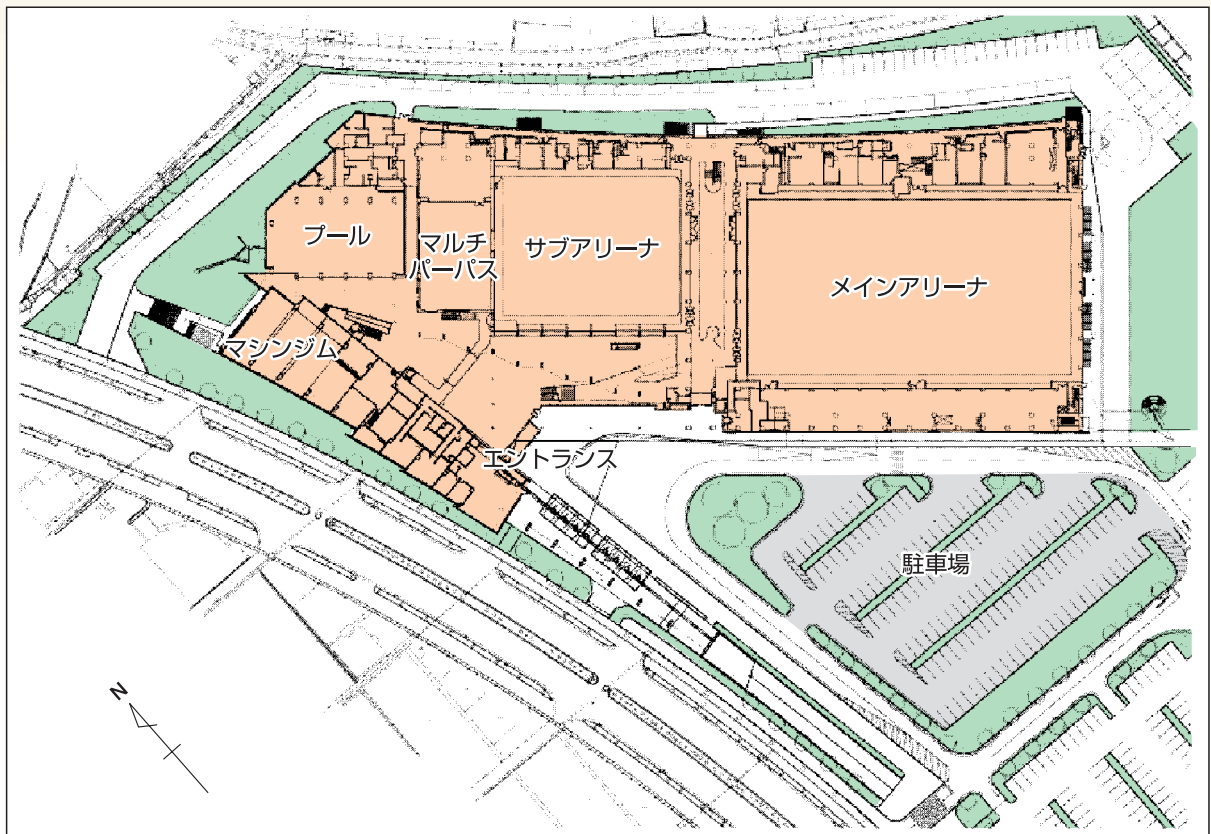


41 石川県総合スポーツセンター（仮称）



スポーツ関係者をはじめ多くの県民から、21世紀の時代にあった新たな総合スポーツセンターの建設が待ち望まれていることから、現在の県立体育館を建替えることとなった。「競技力の向上」「生涯スポーツ社会の実現」を目指し、本県のスポーツ振興を図るための中核的拠点施設として、全県的大会や国際大会の開催、科学的トレーニング、指導者の養成・研修、スポーツ情報の発信機能などを備えた総合スポーツセンターの整備を進める。



全体配置図



メインアリーナ

スムーズな動線：3階レベルに設けた屋上広場と1階レベルを緩やかなスロープでつなぐ

色彩計画：敷地周辺は、隣接する犀川や西部緑地公園等により良好な自然環境が保たれているため、過度な色使いを避ける

質実剛健：県内スポーツ施設のシンボルであることを感じられる構成






先端羽根付鋼管杭：無排土施工、低騒音・低振動施工が可能

アリーナ面有効高さ：約20m

最高軒高さ：約25m

収容人数：6000人

スパン長さ：約50m（張弦梁構法）

- ：大屋根上部に降った雨を集水して雑用水に利用
- ：建物基礎杭により地中採熱して融雪設備に利用
- ：大型昇降機や多目的便所、車いす使用者用駐車場を設置
- ：大屋根は耐久性向上のためステンレス屋根とする
- ：アリーナ壁面に県産スギ板を使用

DATA

金沢市稚日野町北地内
平成17年10月～平成20年3月
屋内体育施設
S・RC・SRC造：3F
28,342㎡